



# News Letter

# 12

昭和女子大学 現代ビジネス研究所 | ----- | ニュースレター |

Column

## 地域再生目指す飛騨高山学会

昭和女子大学現代ビジネス研究所  
所長 八代 尚宏

2019年9月7日に開催された最初の飛騨高山学会に、ビジネスデザイン学科のゼミ生と共に参加した。大学のない高山市では、地元の住民や中高校生が大学の学生や教員と交流する機会が乏しいために、高校生から大学教員まで、年齢の壁を越えて地方再生のアイデアを競うことを目的としている。

地元の高山高校生による「観光地の防災」は、地震等の災害時に大勢の外国人観光客に正確な情報を提供し、避難所等へ誘導するためのポケットガイドを準備することがホスピタリティとした。他方で、大学教員による、飛騨市の神岡鉱山跡に設置されている重力波望遠鏡を用いた国際的ネットワークや、飛騨御嶽高原での高地トレーニングの施設を、一般人の健康管理プログラムにも活用する等、飛騨高山の地域特性を生かした提案も相次いだ。

本学の学生からは、急速に増えている外国人観光客の利便性を高めるために、独自に作成したQRコード付きの観光マッピングや、お寺の境内でのプロジェクション・マッピングの実例紹介を行うとともに、高山市の林業の高付加価値化の提案を行った。木材をそのままの形で原材料として販売するだけでなく、最終消費者にできるだけ近い段階まで加工することで付加価値を高められる。その一つの具体例として、飛騨高山産の檜や杉から木糸を作り、それで縫製した風通しが良く丈夫な高級スーツを名産品に加える提案を行った。こうした飛騨高山学会の試みが、他の地域の活性化にも繋がることを期待したい。



## 2018年度プロジェクト活動報告会・交流会

日時：2019年4月20日(土)13:30~18:00  
会場：8号館コスモスホール

新年度を迎えた4月20日、2018年度の研究助成金採択プロジェクト10件の研究報告会を開催しました。研究員間の共同研究や、本学学生との協働研究等、一年間の研究成果が発表され、終了後には今年度入所の新規研究員を迎えて所員・研究員交流会を行いました。

<助成金採択研究発表者> (発表順)

研究員	学生	アドバイザー教員	タイトル
金森史枝	—	—	社会で活躍できる女性の特性分析(1) —職場における女性間ハラスメントの特徴
大本郁子	—	—	G・A・ダリオ著『エレガンスの事典』 ～ヨーロッパエレガンスの原点と女性たちへのメッセージ～
段谷憲 (食プロ)	中村日向子	不破真佐子	ローリングストックと非常食レシピの最適化に関する研究
西村美奈子 遠藤佳代子	—	—	マチュア世代の働く女性のセカンドキャリア支援の現状とビジネスニーズ分析の研究
柳川伸二	ティンイン 金牧美寿々 新井伶奈	チャン・マーク	昭和女子大学生の国際志向性に関する意識調査
根橋玲子	捧里桜	磯野彰彦	燕三条地域の加工技術とグローバル優位性
甲賀聖士	古閑光子 Shen Yuwei 吉田奈央	小森亜紀子	ソーシャルビジネスにおける女性参画の実態と「ジェンダー意識」「社会貢献意識」に関する研究
熊坂敏彦	—	—	「循環型地場産業」研究(2) 観光振興による「循環型地場産業」の形成と地域活性化
大嶋淳俊 宮本真一	吉田裕香 亀井絵梨香 後藤史帆 佐川愛実 川目恵里菜	磯野彰彦	東北復興支援のためのPBL手法による観光促進に関する研究 ～いわき湯本温泉の活性化～
鶴沢真	—	天笠邦一	シェアリングエコノミーにおける社会関係資本の役割



## ▶ 研究セミナー

### 「大人の身だしなみ講座」

末川久幸特別研究員監修の下、資生堂美容技術専門学校の全面的なご協力をいただき、「大人の身だしなみ講座」を開催しました。

ビジネスシーンで必要とされるメイクアップ、ファッション、グルーミング等のレクチャーに続き、ヘアメイクアップアーティストとスタイリストの方により大変身したモデル(昭和女子大学教職員)3名のビフォーアフターを比較しながら、専門家のアドバイスをいただきました。

また表情や姿勢改善のためのストレッチも実践。第一印象の大切さを痛感するとともに、楽しくリフレッシュもでき、笑顔の溢れるひと時となりました。

日時:2019年6月28日(金)18:30~20:00

場所:8号館コスモスホール

講師:資生堂美容技術専門学校 副校長

大久保 紀子氏

資生堂ビューティートップスペシャリスト

生駒 広子氏



## ▶ 公開講座

### 「災害を生きぬく非常食

### —ローリングストックと災害時調理—

第1部は防災の専門家である矢代研究員(防衛大学校教授)より、首都直下型地震について、データをもとに詳しいレクチャーがありました。第2部では、ポリ袋を使った調理の基本として、「白米」「粥」「焼き鳥缶と白菜の卵とじ」の三品のデモンストレーションが行われました。

9月1日の防災の日を翌日に控え、大規模災害に備えるための第一歩として、自助の意識を持つこと、日常の中で備蓄しておくことの大切さを改めて実感しました。

日時:2019年8月30日(金)18:30~20:00

場所:8号館コスモスホール

講師:現代ビジネス研究所「食プロジェクト」メンバー

矢代 晴実研究員、小野田 美都江研究員、渡邊 由香子氏



## 現代ビジネス研究所認定 教員主導型プロジェクト

現代ビジネス研究所では、主に外部団体とコラボレーションした教員主導型のプロジェクトについても、研究所のプロジェクトとして認定しています。現在以下のプロジェクトが稼働中です。

プロジェクト名	概要	協働団体	担当教員
株式会社三恵×昭和女子大学プロジェクト	小学4～6年生女子児童をターゲットとした「ファーストブラ」の企画・販売。購買者層のニーズを調査して商品コンセプトおよびデザインを提案し商品化された。メディアにも多く取り上げられた。	株式会社三恵	高木 俊雄 石垣 理子 小森 亜紀子
「女子大生が恋する！」井の頭線プロジェクト	井の頭線の渋谷・吉祥寺を除く15駅を対象として、モノ消費ではなくコト消費の仕掛けを構築し、PR活動に留まらない、継続性のある「まちとつながり」「人を動かす」仕掛けづくりを次年度に向け実施中である。	京王電鉄株式会社	高木 俊雄 小森 亜紀子
アサヒ飲料×昭和女子大学「健康チャレンジ」プロジェクト	アサヒ飲料および沖縄県自治体と共同し、主に健康飲料の継続飲用を通して、健康および地域に着目した調査や、調査を踏まえた施策のヒントを探る活動を実施している。	アサヒ飲料株式会社	高木 俊雄
株式会社ダイエー×昭和女子大学デジタルラボプロジェクト	昭和女子大学学生ホール内にデジタルラボを設置し、食品・お菓子等をスマホを利用したウォークスルー決済で購入できるスマートストアを展開する。同時にダイエー三軒茶屋店のTOFセンサーカメラによる顧客動線の分析を行い、効果的な売り場展開を提案する。	株式会社ダイエー	高木 俊雄 小森 亜紀子
昭和女子大学×香取市地方活性化プロジェクト	昭和女子大学構内にて、千葉県香取市で採れた産地直送野菜を販売し、香取市の魅力の発信と認知度の向上を狙う。	千葉県香取市	高木 俊雄
Business in English	グローバル企業を分析、企業を取り巻く諸問題を英語で討議し、実践的な英語力の向上と国際的なビジネス感覚を養う。	—	前田 純弘 太田 行信 (研究員)

### 〈株式会社三恵×昭和女子大学プロジェクト〉

「株式会社三恵×昭和女子大学ファーストブラ応援プロジェクト」は、昭和女子大学ビジネスデザイン学科と環境デザイン学科の学生が下着販売の株式会社三恵と協働で小学生のためのブラキャミソールの開発を行っています。

約一年間小学生のお子様とお母様に寄り添い、商品開発を行いました。世田谷区の小中学生のお母様にアンケートの協力を依頼し、200名以上の方に「理想の初めてのブラジャー」に関するアンケートに回答していただきました。そして、既に経験者である中学生には、当時使用していたブラジャーの不満点や改善点などのアンケート調査を実施しました。お母様方からの「理想として求める点」と、中学生からの「現実の問題点」をデータ化することができました。

また、アンケートだけではなくインタビューも実施し、素材や機能性についてさらに詳しく意見をいただくことができました。そこからサンプルを作成し、小学生のお子様・お母様方が納得するまでインタビューを繰り返し、お子様・お母様方が求める理想の初めてのブラキャミソールが完成しました。

この活動を雑誌や新聞などに取り上げていただいたり、口コミで伝えていただいたりしたおかげで、完売することができま



した。現在は、新たなメンバーが加わり、ファーストブラの追加販売と新商品の開発準備を行っています。  
(ビジネスデザイン学科3年 春田 海香)

### 〈昭和女子大学×香取市 地方活性化プロジェクト〉

私たち香取プロジェクトは千葉県香取市の地方活性化を目的として様々な活動を行っています。その活動の一環として、毎週土曜日に香取市の上川岸小公園、火曜日は三軒茶屋駅前の八角堂にて香取の野菜、果物や特産物を販売する“あやめマルシェ”を開催しています。



学生が生産者と消費者の仲介役となることで、普段農家さんが直接伝えられない野菜に対するこだわりや魅力を発信しています。野菜についての知識を身に付けるのはもちろんのこと、普段から農家さんとのコミュニケーションを沢山とることを心掛け、どうしたら売れるかを試行錯誤しながら行っています。

先月からは、教職員向けに学内販売も開始しました。無農薬（一部減農薬）で栽培した、形は不揃いながらも採れたてで新鮮な野菜を、学生が毎週火曜日に先生方のオフィスまで直接配達しています。

少しでも興味を持っていただけましたら以下のURLまたはQRコードから詳細をご覧ください。沢山のご注文を心よりお待ちしております。

(ビジネスデザイン学科3年 高崎 杏実)



<https://swu-takagi.wixsite.com/katori-pj>

## 助成金採択プロジェクト

現代ビジネス研究所では、研究員の研究活動を支援するために、優れた研究に対して研究経費の一部を助成しています。学生と協働するプロジェクトには本学教員がアドバイザーとして参加し、学生は実務経験豊富な研究員と共に実践的な学びを深めています。

2019年度は以下の16プロジェクトが採択されました。また、前年度までの活動報告は現代ビジネス研究所ホームページで公開している「紀要」でご覧いただけます。

研究員	研究プロジェクト
青野 智子	地域性を活かした地方活性化の可能性を探る ー郷土食を通じた新たなビジネスの構築を目指してー
石川 航平	大学生がつくる女性起業家年鑑出版プロジェクト
大賀 暁	ペット関連新事業の進展状況調査と市場枠組みのデザイン
大木 義徳	日本の外国人向け社会統合政策(Migrant integration policy)の現状と課題
大嶋 淳俊	“東京で識る東北”～復興支援を目指して、アンテナショップの観光PR機能の強化に関する研究
金森 史枝	職場における女性間ハラスメントの特徴(2)ー保育士の女性間ハラスメントの実態ー
木村 誠	「昭和女子大×日本酒蔵元×ミシュランレストラン」2.0
熊坂 敏彦	「地場産業」を中核にした「地域創生」についての研究 ー「循環型地場産業」の事例研究(3)
高橋 恵子	子どもの自立、職業選択における家庭の果たす役割についての研究
段谷 憲 (食プロ)	ローリングストックと非常食レシピに関する実践的な防災教育研究 ～備蓄・非常食の考え方の普及とレシピの深化～
鶴沢 真	大学生のキャッシュレス決済の利用実態に関する実証分析 ーフリマ決済(メルペイ)やQRコード決済(楽天ペイ, PayPay, LINE Pay等)による決済行動に関するアンケート調査
豊永 眞美	フランスのマンガ出版社 キューン社のケーススタディ
西村 美奈子 遠藤 佳代子	マチュア世代の働く女性のセカンドキャリア ー諸外国と日本の比較研究ー
根橋 玲子	燕三条地域の加工技術とグローバル優位性(2年目)～海外の金属加工クラスターとの連携を目指して
野村 尚克	インターンシップの大学4年間ににおける体験プログラムに関する研究
村井 貴	宇宙をテーマにした、VR体験型サイエンス・コミュニケーションの実践

### 研究員サロン

現代ビジネス研究所では、年間を通して「研究員サロン」を開催しています。研究員の研究報告、学生のプロジェクト参加報告、また本学教員による専門分野についてのレクチャーなど、内容は多岐に渡ります。

### 「スマホ依存社会とビジネスの規範」

日時: 2019年9月6日(金) 19:00～20:30

講師: 現代ビジネス研究所  
樋口 一清 特命教授

GAFANAなどがプラットフォームで得た個人情報をビッグデータとして活用することが問題視され、またEUでは個人データの収集・移動に規制が始まっている中、日本では企業がどのような自主ルール・規範を形作っていくべきか、消費者問題の観点から現状と対策について解説していただきました。

